

2026年に卒業する大学生・大学院生を対象にした新卒採用の会社説明会が今月解禁され、就職活動が本格的に始まった。人手不足などを背景に企業の採用意欲が高く、引き続き学

26年卒大学生就活解禁

同指導会は毎年、会社説明会を開催。今年は県内上場企業を含む約140社が出展し、学生は400人が参加した。

同指導会の杉本雅視会長（神田外語大キャリア担当）によると、県内では成田空港の機能強化に伴い、空港職員以外にも整備会社や物流といった関連産業全体で人材の需要が高い。杉本会長は「さらに3万人以上の労働力が必要とされ成長が見込まれる分野。学生にとって幸せなキャリアになり得る」とし「転職が一般的となっている時代だが、会社と学生の双方のためにも説明会でミスマッチを防げれば」と期待した。

成田空港関連企業は13社参加。成田国際空港会社（NAA）は、仕事内容や福利厚生などを学生に丁寧に説明した。担当者は「NAAだけで

空港関連や宿泊業 採用に力

県内企業など説明会

生優位の「売り手市場」が続く。県内27大学で構成する「県大就職指導会」などは3日、千葉市美浜区の幕張メッセで県内企業を中心とした合同会社説明会を開催。特に県内では、訪日外国人客の増加や成田空港の機能強化に伴い、空港関連産業や宿泊業で採用意欲が高く、各企業は動きやすさもアピールしながら、採用に力を入れている。



多くの学生が集まった合同会社説明会の会場。3日、千葉市美浜区の幕張メッセ

なく業界全体で人手確保が課題。華やかな仕事と思われがちだが、大変な業務もあるの

で理解してもらった上で興味を持ってほしい」と話した。訪日外国人客の増加で宿泊・ホテル業も人手の確保に躍起。ANAクラウンプラザホテル成田（成田市）の担当者は「新型コロナウイルス禍で旅行の機会が減り、ホテルが身近でない若い世代が増えているため、注目が集まりづらくなっている」とこぼす。業界を志望していなかった学生にも魅力を感じてもらえるよう、業務内容やキャリアパスを説明したり「語学力を生かせる」とPRした。

参加した神田外語大3年の女子学生（21）は「企業側の熱意を感じた。異動が少ないなど働きやすさにもこだわって就職活動をした」と話した。就活の日程は3月1日から会社説明会、6月1日から面接などの選考活動、10月1日に内定解禁と政府がルールを定めている。ただ、学生の多くは夏休みなどにインターンシップ活動で企業と接点を持つたり、2月までに面接を受けたりと、事実上の就職活動を開始しており、政府のルールは形骸化している。